

東海3県の自治体で初 分身ロボット「OriHime」を導入します

入院や不登校等により学校に通えない子どもの学習支援や心のサポートを行う分身ロボットを1台導入します。

9月3日(火)から、
小中学校の教室で
授業に参加します。



「OriHime」操作イメージ



ポイント① 東海3県の自治体で初めての導入

公立の小中学校での導入は、東海3県で初めてです。

ポイント② 授業等に遠隔参加ができます

身体的、精神的な理由で教室に足を運ばない子どもが、もう一つの身体である分身ロボット「OriHime」を教室に置き、インターネットを通して操作することで、友達と席を並べ授業等に参加することができます。

分身ロボット「OriHime」を介して、友達とコミュニケーションをとる機会を設けることで、孤独感を和らげるなど、心のケアに取り組みます。

(注意)取材については、9月3日(火)を予定しています。詳細は別途お知らせします。

問合せ先 教育部学校教育課教育会館 岩竹・坂本(電話 33-2113)